

モニタリング結果報告書 (令和2年度)

1. 施設概要

施設名	津久井湖城山公園		
所在地	相模原市緑区城山・小倉・太井・根小屋		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/tsukuikoshiroyama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(H11.4.1)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>	
<p>利用状況の評価はC、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はBとなった。 利用者数の目標値が高い上に、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、駐車場の閉鎖、施設の利用中止になったことや、大型イベントが中止となったことなどの影響が大きく、利用状況がC評価となったが、適切な維持管理を行った結果、利用者の満足度も非常に高く、指定管理者の努力がうかがえた。 3項目の評価以外の各項目について、苦情・要望が3件あったが、いずれも迅速かつ適切に対応されていた。また、事故・不祥事については、指定管理者業務に起因するものはなく、事故後の応急的な安全措置も速やかに行われていた。 今後も、本公園の特性を十分に踏まえた歴史や自然に関する様々な魅力あるイベントを開催するなど、満足度の維持や利用者数の増加に努めながら、引き続き、質の高い管理運営業務を行ってほしい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くのイベントが開催できなかったが、感染症対策を実施しながら、ボランティア団体と協力して歴史や自然をテーマにしたイベントを開催し、利用者学習の場を提供した。維持管理業務においては、地元の関係団体等で構成される連絡会において出された提案を踏まえ、眺望を確保するための伐採を積極的に行うなど、管理水準以上の取組みを行った。</p> <p>◆利用状況 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4月25日から5月31日までの間、駐車場の閉鎖、パークセンター展示室及び研修棟が利用中止となったことや、さくらまつりなどの大規模イベントが中止となったことなどから、利用者数は大きく落ち込んだ。その後も大規模イベントを中止せざるを得ない状況が続いたが、近場で余暇を過ごすという利用者が多く訪れたことから、6月以降は概ね前年度と同程度の来園者数となった。通年では、対前年度比で78.0%、目標値に対して75.4%となり、C評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 県が年間7回調査を実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が95.0%となったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 イベント以外の来園者が多く、自動販売機収入が当初計画額より560千円増となった。また、支出については、概ね計画どおりの支出であった。収支比率は103.37%となったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 苦情・要望は3件あったが、いずれも迅速かつ適切に対応していた。園内清掃やトイレ清潔など来園者の目に付きやすい箇所に対する苦情は1件も無く、高評価である。</p> <p>◆事故・不祥事等 作業員が作業中に蜂に刺される事案が1件発生したが、必要な対策は行われていた。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査や労働基準監督署からの指摘事項はなく、良好な労働環境の確保に取り組んでいた。</p> <p>◆その他 なお、令和2年度の3項目評価については、B評価とした。今後も、引き続き、利用者の高い満足度の維持に努めるほか、利用者の増加に向けた取組、利用者の安全に配慮した維持管理運営に努めてもらいたい。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
B	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	随時	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
4月にさくらまつりを実施。地元観光協会や商工会とも連携しながら推進し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は30,000人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	
5月にルピナスまつりを実施。地元観光協会や商工会とも連携しながら推進し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は1,000人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	
11月に収穫感謝祭を実施。150名以上の公園ボランティアと協力しながら推進し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は1,500人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	
11月に第5回つくい湖湖上祭を実施。実行委員会形式で指定管理者も参加し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は10,000人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
◆バーベキューの運営 みどり豊かな自然の中で、利用者に人気の高い飲食スタイルとして、広く県民の皆様にご利用していただくことを目的とする。また、提供するメニューも地元で採れた肉や魚、野菜等、安全安心な食材を用意する等、地域振興と利用者の健康に配慮したバーベキュー運営を実施する。	花の苑地で、7月から11月の間と3月後半に実施した。収支の実績は△438千円であった。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月から6月及び3月上旬は営業できない状況で、収入が減少した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	501,235	523,904	408,792
対前年度比		104.5%	78.0%
目標値	532,440	542,300	542,300
目標達成率	94.1%	96.6%	75.4%

目標値の設定根拠： 提案書記載の目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数、団体利用数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

緊急事態宣言発出に伴う県からの要請に基づき、4月25日から5月31日まで、駐車場の閉鎖や、パークセンター展示室及び研修棟の利用を中止したこと、また、感染拡大防止に伴う措置として、さくらまつり、ルピナス祭り、つくい湖湖上祭などの大規模イベントを中止したことや、4～6月及び3月上旬のバーベキューの運営休止などから、利用者数が大幅に減少した。

②令和2年度の対応状況

マスク着用、手指アルコール消毒、体温測定などの感染症対策の徹底を図りながら、大規模イベントを中止せざるを得ない状況下であっても、ボランティア団体と協力した歴史や自然をテーマにした実施可能な小規模イベントを行い、利用促進に努めた。

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント時1回の計7回調査の結果を使用する。 指定管理者による適切な公園管理により、前年度同様満足度は高かった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 119 / 119 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	96	17	3	3	0	119	
回答率	80.7%	14.3%	2.5%	2.5%	0.0%		
前年度の回答数	80	34	0	0	1	115	
前年度回答率	69.6%	29.6%			0.9%		
回答率の対前年度比	116.0%	48.3%			0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 —
②令和2年度の対応状況 —

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	145,920	0	423	自販機423	146,343	146,343	0	
	決算	145,920	0	858	自販機858	146,778	143,378	3,400	102.37%
前年度	当初予算	148,622	0	433	自販機433	149,055	149,055	0	
	決算	148,622	0	816	自販機816	149,438	140,527	8,911	106.34%
令和2年度	当初予算	153,781	0	433	自販機433	154,214	154,214	0	
	決算	153,781	0	1,145	自販機993 雇用調整助成金152	154,926	149,872	5,054	103.37%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
令和2年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<備考>

<p>【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響</p> <p style="text-align: center;">—</p> <p>②令和2年度の対応状況</p> <p style="text-align: center;">—</p>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	メール	1 件	①キアシドクガが大発生していたので、枝落としや伐採をしてほしい。	①キアシドクガの発生は、樹木自体が原因ではないため、伐採等はできないと回答した。
	来園	1 件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他	来園	1 件	①水の苑地で水遊びをしたり、自転車に乗っている人がいるので、職員を常駐させて注意してほしい。	①注意看板を設置した。
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
R2. 8. 10	①職員が材料運搬中、蜂の巣に気付かず近づき、蜂に刺された。 ②事故発生当日に指定管理者より報告を受ける。 ③応急措置を行った後、病院に搬送。 ④無し ⑤長袖長ズボンで作業しており、特に問題はなかった。 ⑥無し
R2. 8. 12	①水の苑地カスケードに設置されている小さな噴水孔部内のノズルに、幼児の足が入ってしまい、足裏を切った。 ②指定管理者より報告を受け、県職員が状況を確認。 ③救急車で病院に搬送、5 cm程度の切り傷。 ④無し ⑤後日県が噴水孔を小さくするゴム製のキャップを設置 ⑥無し

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。